

令和2年度  
事業報告書

自 令和 2年4月 1日  
至 令和 3年3月31日

香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁6-2-1

学校法人大麻学園

# 令和2年度 事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 学園の目的

学校法人大麻学園（以下「学園」という。）は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行い、有為な人材を育成することを目的とする。

建学の精神 健康のありがたさを知り、手をもって、伝え広める

教育理念 自立 医療に携わる人として、自ら学び、考え、行動する

信頼 医療に携わる人として、仲間から、患者さんから、社会から信頼を得る

貢献 医療に携わる人として、人々の健康で幸せな生活に貢献する

### (2) 設置する学校

学園は、前記（1）の目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。

四国医療専門学校（課程：医療専門課程）

### (3) 付随事業

学園は、教育研究事業に付随する事業として、次に掲げる付随事業を行う。

医療、福祉

### (4) 本学園の沿革

昭和 31（1956）年 香川県高松市に「香川県指圧学校」創設

昭和 33（1958）年 厚生大臣より、あん摩マッサージ指圧師養成施設として認定

昭和 35（1960）年 厚生大臣より、はり師・きゅう師養成施設として認定

” 香川県知事より、各種学校として認可

” 校名を「香川県指圧鍼灸専門学校」と改称

昭和 51（1976）年 香川県知事より、専修学校として認可

昭和 54（1979）年 校名を「四国鍼灸専門学校」と改称

平成 4（1992）年 香川県綾歌郡宇多津町（現在地）に移転

平成 6（1994）年 香川県知事より、準学校法人の認可

平成 9（1997）年 姉妹校「四国リハビリテーション学院」（理学療法学科、作業療法学科）開設

平成 12（2000）年 四国鍼灸専門学校に、鍼灸学科1部、鍼灸学科2部、柔道整復学科1部及び柔道整復学科2部を併設し、校名を「四国医療専門学校」と改称

平成 18（2006）年 四国医療専門学校と四国リハビリテーション学院を統合し、新「四国医療専門学校」となる

平成 19（2007）年 看護学科を併設

平成 21（2009）年 スポーツ医療学科を併設

令和 2（2020）年 桃陵クリニックを事業継承し、大麻学園附属桃陵クリニックを開設

### (5) 課程・学科の構成及び学生数の状況（令和3年5月1日現在）

(人)

課程名	学科名	開設年月日	修業年限	入学定員	入学者数	収容定員	現員
医療専門課程	鍼灸マッサージ学科	S33. 3. 28	3	30	30	90	88
	鍼灸学科1部	H12. 4. 1	3	30	13	90	31
	鍼灸学科2部	H12. 4. 1	3	30	11	90	36
	柔道整復学科1部	H12. 4. 1	3	30	24	90	60
	柔道整復学科2部	H12. 4. 1	3	30	6	90	17
	理学療法学科	H 9. 4. 1	4	36	36	144	124
	作業療法学科	H 9. 4. 1	4	30	30	120	95
	看護学科	H19. 4. 1	4	75	50	300	180
	スポーツ医療学科	H21. 4. 1	2	30	7	60	18
	合 計				321	207	1,074

## (6) 卒業生動向 (令和2年度卒業生/令和3年5月1日現在) (人)

学科名	卒業生数	関係分野に就職した者	その他の分野に就職した者	摘要
鍼灸マッサージ学科	29	22	0	開業2 進学1 未定4
鍼灸学科1部	16	13	0	進学1 未定2
鍼灸学科2部	6	4	1	開業1
柔道整復学科1部	18	16	0	未定・不明2
柔道整復学科2部	3	3	0	
理学療法学科	20	16	0	進学1 未定・不明3
作業療法学科	17	17	0	
看護学科	53	51	0	進学1 未定1
スポーツ医療学科	13	9	0	他学科在籍3 不明1
合計	175	150	1	

※併修者は昼間部で計上

## (7) 国家試験等合格状況 (令和2年度卒業生)

資格名 (学科名)	受験者数	合格者数	合格率	全国平均 (新卒)	
あま指師 (鍼マ)	29人	28人	96.6%	94.0%	
はり師	(鍼マ)	29人	22人	75.9%	87.8%
	(鍼1部)	16人	15人	93.8%	
	(鍼2部)	6人	6人	100%	
	計	51人	43人	84.3%	
きゅう師	(鍼マ)	29人	23人	79.3%	89.1%
	(鍼1部)	16人	16人	100%	
	(鍼2部)	6人	6人	100%	
	計	51人	45人	88.2%	
柔整師	(柔1部)	18人	14人	77.7%	85.6%
	(柔2部)	3人	3人	100%	
	計	21人	17人	81.0%	
理学療法士 (理学)	20人	18人	90.0%	86.4%	
作業療法士 (作業)	17人	15人	88.2%	88.8%	
看護師 (看護)	53人	51人	96.2%	95.4%	
アスレティックトレーナー	理論試験	10人	6人	60.0%	—
	実技試験	6人	5人	83.3%	
	トータル	10人	5人	50.0%	

※アスレティックトレーナー (日本スポーツ協会公認) になるためには、理論試験合格後、実技試験に合格しなければならない。

## (8) 役員の概要 (定数:理事7人、監事2人、顧問1人/令和3年5月30日現在)

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長 (1号理事=学園長)	大麻 悦治	常勤	H 6.12.15 理事就任 H 6.12.15 理事長就任
副理事長 (4号理事=学識経験者又は学園功労者)	大麻 正晴	常勤	H19. 4. 1 理事就任 H19. 4. 1 副理事長就任
理事 (2号理事=学校長)	石川 浩	常勤	H31. 4. 1 理事就任
理事 (3号理事=評議員)	笠井 勝代	常勤	R 元. 5 28 理事就任
理事 (3号理事=評議員)	後藤 修司	非常勤	R 2. 9.18 理事就任
理事(4号理事=学識経験者又は学園功労者)	木村 嘉己	非常勤	H 6.12.15 理事就任
理事(4号理事=学識経験者又は学園功労者)	山下 淳二	非常勤	H27. 3.18 監事就任 H30. 3. 8 監事退任 H30. 3.18 理事就任
監事	高嶋 博	非常勤	H30. 3.18 監事就任
監事	平田 眞一	非常勤	H21. 4. 1 監事就任
顧問	乗松 尋道	常勤	R 2. 7.22 顧問就任

※再任者については、最初に就任した年月日を記している。

## (9) 評議員の概要 (定数:15人/令和3年5月30日現在)

区分	氏名	区分	氏名
1号評議員(職員)	青木みゆき	2号評議員(卒業者)	田幸 正旬
1号評議員(職員)	猪越 孝治	2号評議員(卒業者)	成瀬 晴菜
1号評議員(職員)	大麻 陽子	2号評議員(卒業者)	林 広野
1号評議員(職員)	笠井 勝代	2号評議員(卒業者)	松本 和子
1号評議員(職員)	坂本 竜輝	3号評議員(学識経験者)	後藤 修司
1号評議員(職員)	高橋 謙一	3号評議員(学識経験者)	真部 卓一
2号評議員(卒業者)	小泉 博幸	3号評議員(学識経験者)	(欠員)
2号評議員(卒業者)	白井 直樹		

## (10) 職員の概要 (令和3年5月1日現在)

	本務者	兼務者	合計
①教 員	55人(男27/女28)	133人(男88/女45)	188人(男115/女73)
②医 師	2人(男2/女0)	—	2人(男2/女0)
③看 護 師	8人(男0/女8)	—	8人(男0/女8)
理学療法士 ④あはき師 柔道整復師	6人(男5/女1)	—	6人(男5/女1)
⑤事務職員	23人(男11/女12)	—	23人(男11/女12)
合 計	94人(男45/女49)	133人(男88/女45)	227人(男133/女94)

本務者の平均年齢 ①49.2歳 ②75.5歳 ③44.1歳 ④32.3歳 ⑤53歳

## 2. 令和2年度事業の概要

### (1) 主な事業

令和2年度事業計画	実績												
<b>①教育</b>													
<p><b>【教育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランディング、マーケティング戦略の再構築</li> <li>・学生在籍者数5%増 650名→680名 (入学生増、中途退学者減)</li> <li>・優先順位を付し、やらないことを決め対学生に注力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度の「AO特待生制度」適用者に奨学金を支給する実績 <table border="1" data-bbox="475 360 1442 577"> <thead> <tr> <th>奨学内容</th> <th>適用</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)特待A(年間50万円支給)</td> <td>1</td> <td>鍼灸マッサージ学科</td> </tr> <tr> <td>(2)特待B(年間25万円支給)</td> <td>1</td> <td>理学療法学科</td> </tr> <tr> <td>(3)特待C(年間5万円支給)</td> <td>2</td> <td>鍼灸マッサージ学科、作業療法学科</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>・R2年度の「入学希望者紹介制度」の実績 鍼1:1名、鍼2:1名、柔1:1名、柔2:2名、理学:2名、看護:1名 計8名</li> <li>・WEBオープンキャンパスの実施 参加実績:60名(※AO、特待生入試対象者のみの数字)</li> <li>・オンライン入試の実施(利用実績:なし)</li> <li>・高等教育修学支援新制度の対象校として認定(継続)</li> <li>・令和4年度以降 スポーツ医療学科入学生の募集停止決定</li> <li>・労力削減を目的に募集・入試・学籍・履修・成績管理を一元化した学務システムの導入</li> <li>・キャリア教育を目的とした動画「459TV」を学生向けに配信</li> <li>・会議・委員会のスリム化については以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○会議数:例)令和元年度 運営会議(定例)12回、(臨時)16回計28回 令和2年度 運営会議(定例)12回、(臨時)21回計33回 ⇒コロナの感染対策等により、前年度より増加した</li> <li>○委員会数4/1時点:26⇒10/1時点:16⇒10の委員会を集約しスリム化を図った</li> </ul> </li> </ul>	奨学内容	適用	摘要	(1)特待A(年間50万円支給)	1	鍼灸マッサージ学科	(2)特待B(年間25万円支給)	1	理学療法学科	(3)特待C(年間5万円支給)	2	鍼灸マッサージ学科、作業療法学科
奨学内容	適用	摘要											
(1)特待A(年間50万円支給)	1	鍼灸マッサージ学科											
(2)特待B(年間25万円支給)	1	理学療法学科											
(3)特待C(年間5万円支給)	2	鍼灸マッサージ学科、作業療法学科											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ関連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規模を縮小し、新入生と教員のみで入学式を举行 【入学者数:205名、在籍者数:652名】</li> <li>・香川県知事による緊急事態宣言を受け4/15~5/1の間 学校休校</li> <li>・5/7 遠隔授業を併用しながら授業再開</li> <li>・4/20~5/1 教職員の週2日テレワークの実施 (実施率:86%、実施内容:遠隔授業準備、課題作成、模試作成、自己研鑽等)</li> <li>・在校生に一律30,000円の学生生活支援金の給付</li> <li>・3号館、5号館サーマルカメラの設置</li> <li>・外部実習を学内実習に切り替えて実施</li> <li>・入学式同様、卒業生と教員のみで卒業式を举行【卒業生:175名】</li> </ul>												
<p><b>【医療】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大麻学園附属桃陵クリニック開設(ベッド数18床) 診療科:脳神経外科・神経内科・リハビリテーション科</li> </ul>												
<p><b>【他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業始動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アグリマスと広報的アドバイザー契約の締結</li> <li>・医療介護事業所向け動画配信サービス「459TV」を開始</li> <li>・外部団体への施設貸出(看護師、柔道整復師国家試験会場として)</li> </ul>												
<b>②経営</b>													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育事業一本から医療事業、他事業を展開していく</li> <li>・教育事業で売上高を5%増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関取得、動画配信サービス開始(収益化は令和3年度以降)</li> <li>・教育事業の売上高目標5%増⇒実績1.3%減少</li> </ul>												

③組織	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園に経営企画室を設置し、迅速な行動への足掛かりに</li> <li>・人材の資質向上 (人財育成・開発)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未設置。学科改廃・新設等を含め経営判断に必要な情報の収集・分析を目的として早期設置要</li> <li>・6月、7月、8月 (計3回) 中堅・若手層を対象としたタナベ経営次世代リーダー研修の実施</li> <li>・9月 トップマネジメント層を対象としたタナベ経営役員講演会の実施</li> </ul>
【その他】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生寮三番館外壁全面改修工事 (～11月)</li> <li>・初代校長 大熊久次郎 (没後50年) 胸像除幕式の挙行</li> </ul>

## (2) 施設等の状況 (令和3年5月1日現在)

## ①校地

	総面積	専用	共用	備考
校地	25,260 m <sup>2</sup>	25,260 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
	(うち借用 0 m <sup>2</sup> )	(うち借用 0 m <sup>2</sup> )	(うち借用 0 m <sup>2</sup> )	

内訳:

	総面積	専用	共用	備考
校舎敷地面積	10,554 m <sup>2</sup>	10,554 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	各校舎、本館
運動場	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
その他	14,706 m <sup>2</sup>	14,706 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	別館、学生寮、 学生ホール、 無料駐車場、 桃陵クリニック

## ②校舎等

	総床面積	専用	共用	備考
校舎等	14,370 m <sup>2</sup>	14,370 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	各校舎、本館

内訳:

	室数	床面積	専用	共用	備考
普通教室	30	2,348 m <sup>2</sup>	2,348 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
演習室	5	194 m <sup>2</sup>	194 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	視聴覚教室、 セミナー室
実習室	25	2,569 m <sup>2</sup>	2,569 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
講堂	2	668 m <sup>2</sup>	668 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1号館、3号館
保健室	1	42 m <sup>2</sup>	42 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	5号館
図書室	1	701 m <sup>2</sup>	701 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	本館
休憩室	5	246 m <sup>2</sup>	246 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
臨床実習施設	1	400 m <sup>2</sup>	400 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	附属施術所 (鍼灸治療院・接骨院)
その他		7,202 m <sup>2</sup>	7,202 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
合計		14,370 m <sup>2</sup>	14,370 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	

## ③その他の施設 (学生寮・校外施設等)

	床面積	専用	共用	備考
別館	3,029 m <sup>2</sup>	3,029 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
学生ホール	409 m <sup>2</sup>	409 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	テナント部分を 含む
学生寮土器	1,564 m <sup>2</sup>	1,564 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
学生寮二番館	2,651 m <sup>2</sup>	2,651 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	建物1棟賃借
学生寮三番館	2,302 m <sup>2</sup>	2,302 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	
桃陵クリニック	719 m <sup>2</sup>	719 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	多度津町

### 3. 財務の概要

#### (1) 貸借対照表 (令和3年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部	
科目	金額
<b>固定資産</b>	<b>6,861,445,886</b>
有形固定資産	2,870,133,705
特定資産	2,623,401,526
その他の固定資産	1,367,910,655
<b>流動資産</b>	<b>1,564,252,426</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>8,425,698,312</b>
負債の部	
科目	金額
<b>固定負債</b>	<b>627,450,000</b>
<b>流動負債</b>	<b>230,134,390</b>
<b>負債の部合計</b>	<b>857,584,390</b>
純資産の部	
科目	金額
<b>基本金</b>	<b>6,071,885,797</b>
<b>繰越収支差額</b>	<b>1,496,228,125</b>
<b>純資産の部合計</b>	<b>7,568,113,922</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>8,425,698,312</b>

#### (2) 資金収支計算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日現在)

(単位:円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒納付金収入	805,391,268
手数料収入	9,052,500
寄付金収入	350,000
補助金収入	23,856,146
資産売却収入	3,000,000
付随事業・収益事業収入	50,469,903
受取利息・配当金収入	32,440,286
雑収入	29,705,592
借入金等収入	160,000,000
前受金収入	68,550,000
その他の収入	346,797,515
資金収入調整勘定	△153,875,448
前年度繰越支払資金	1,366,526,106
<b>収入の部合計</b>	<b>2,742,263,868</b>
支出の部	
科目	金額
人件費支出	562,942,824
教育研究費支出	196,073,319
(うち、奨学費支出)	(35,130,000)
管理経費支出	66,348,108
借入金等利息支出	435,639
借入金等返済支出	2,550,000
施設関係支出	189,476,671
設備関係支出	34,170,939



資産運用支出	15,517,137
その他の支出	343,639,684
資金支出調整勘定	△80,868,210
翌年度繰越支払資金	1,411,977,757
<b>支出の部合計</b>	<b>2,742,263,868</b>

(3) 事業活動収支計算書 (令和2年4月1日～令和3年3月31日現在) (単位:円)


教育活動収支	収入の部 事業活動	科目	金額
		学生生徒納付金	805,391,268
		手数料	9,052,500
		寄付金	350,000
		経常費等補助金	14,673,146
		付随事業収入	50,469,903
		雑収入	16,649,659
	<b>教育活動収入計</b>		<b>896,586,476</b>
	支出の部 事業活動	人件費	562,942,824
		教育研究費 (うち、奨学費)	257,131,917 (35,130,000)
管理経費		80,942,085	
<b>教育活動支出計</b>		<b>901,016,826</b>	
<b>教育活動収支差額</b>		<b>△4,430,350</b>	
教育活動外収支	収入の部 事業活動	科目	金額
		受取利息・配当金	32,566,079
		<b>教育活動外収入計</b>	<b>32,566,079</b>
	支出の部 事業活動	科目	金額
		借入金等利息	435,639
		<b>教育活動外支出計</b>	<b>435,639</b>
<b>教育活動外収支差額</b>		<b>32,130,440</b>	
<b>経常収支差額</b>		<b>27,700,090</b>	
特別収支	収入の部 事業活動	科目	金額
		資産売却差額	0
		その他の特別収入	22,238,933
	<b>特別収入計</b>		<b>22,238,933</b>
	支出の部 事業活動	資産処分差額	0
		その他の特別支出	3,917,195
<b>特別支出計</b>		<b>3,917,195</b>	
<b>特別収支差額</b>		<b>18,321,738</b>	
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>		<b>46,021,828</b>	
<b>基本金組入額合計</b>		<b>0</b>	
<b>当年度収支差額</b>		<b>46,021,828</b>	
<b>前年度繰越収支差額</b>		<b>1,450,206,297</b>	
<b>翌年度繰越収支差額</b>		<b>1,496,228,125</b>	


## 監査報告書

令和 3 年 5 月 20 日

学校法人大麻学園  
理事会 御中

学校法人大麻学園

監事 平田 新一 

監事 高嶋 博 

私たちは、学校法人大麻学園（以下「学園」という。）の監事として、私立学校法第37条第3項及び学園寄附行為第20条に基づいて学園の令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書）を含め、学園の業務及び財産の状況に関し監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、理事からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

監査の結果、私たちは、学園の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないこと及び学園の業務に関する執行は適切であることを認めました。

以上